

高いセキュリティーノウハウで標的型攻撃を防御

未知の脅威や最新のサイバー攻撃からお客様の大切な情報資産を守ります。



セキュリティーの専門家によるFireEye製品の運用監視



アラート監視

24時間体制で監視・運用を行っているセキュリティー監視センター「JSOC」(Japan Security Operation Center)で、マルウェア発生アラートのリアルタイム監視を行い、万一の際には即座にお客様へ連絡します。



アナリスト分析

発生したマルウェアをお伝えするのではなく、お客様環境に対する影響有無を判断しお客様にお伝えするのが「JSOC」の強みです。通信先のURLやマルウェアが発生させた通信の中身まで分析し、お客様に本当にお伝えすべき情報だけをお伝えします。



通知・対策提案

お客様環境への影響があるとアナリストが判断した場合には、即座に電話連絡、および一次対策の提案をさせていただきます。アナリストが直接お客様と会話することで、正確な情報提供と、的確なサポートが可能になります。

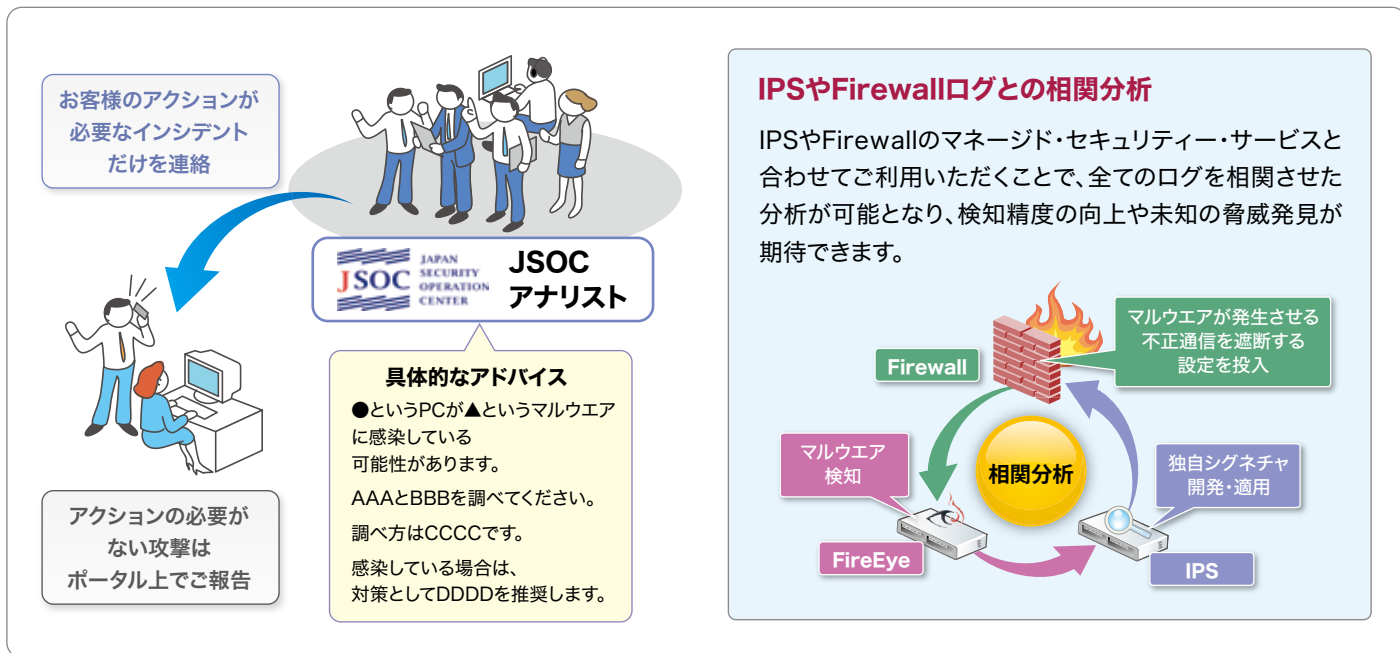
JSOC (Japan Security Operation Center)

- 12年以上に及ぶ、セキュリティー監視サービスの継続実績
- 24時間365日、年中無休のセキュリティー監視・運用サービス
- 業界屈指のプロ集団、ログ分析と防衛の専門家による高度な情報分析
- セキュリティーアナリスト・エンジニア総勢70名以上での運用体制
- 監視センサー数は約1,400、1日あたりの処理ログ量は約4億件
- 大手企業、官公庁を中心に契約顧客は約800ユーザー（現在契約中）
- 主要ベンダーのセキュリティー監視機器にマルチ対応 (Firewall×5種、IDS×5種、IPS×5種)



「JSOC」アナリストによる独自の分析

次世代型のマルウェア対策ソリューションであるMPS (Malware Protection System) を効率的に使用するためには、マルウェアに対する深い知識と、高度なセキュリティスキルが必要になります。「JSOC」では、12年以上にもおよぶセキュリティ対応の実績を活かし独自の分析手法を使うことで、発生したマルウェアの影響有無をいち早く正確に判断し、お客様にお伝えします。



機器運用や最新のセキュリティ情報を提供

サービスメニュー

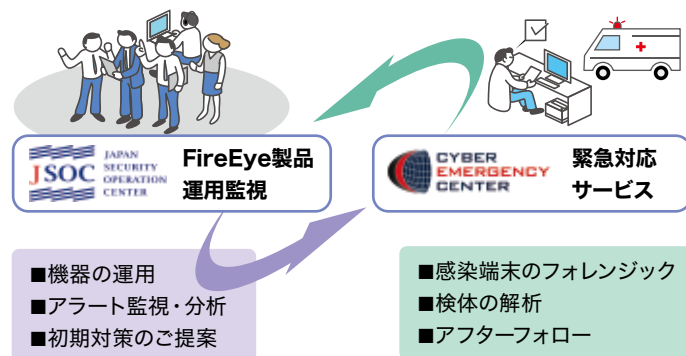
サービスメニュー

セキュリティ分析サービス	セキュリティ監視 ログ保管
機器運用管理サービス	稼働監視 障害対応
	コンテンツアップデート ソフトウェアバージョンアップ
	お問い合わせ窓口 Webポータル 月次レポート セキュリティ情報提供

緊急時には最後までワンストップでお客様をサポート

サイバー救急センターによる緊急対応サービス

影響度が深刻なマルウェアを検知した際には、「JSOC」と「サイバー救急センター」が連動し、検体の解析、感染端末のフォレンジックによる影響範囲や感染原因の調査、業務復旧に向けた社内ハンドリング支援、恒久対策までを含めたアフターフォローを行い、お客様を最後までサポートします。



※本サービスは、株式会社ラックのJSOC(セキュリティ監視センター)と連携しサービスを提供します。



ユニアデックス株式会社 UNIADDEX, Ltd.

東京都江東区豊洲1-1-1 千135-8560 Headquarters: 1-1-1 Toyosu, Koto-ku, Tokyo 135-8560, Japan
 TEL 03-5546-4900 (大代表) Telephone: +81(3)5546-4900
 URL <http://www.uniadex.co.jp/> URL: <http://www.uniadex.co.jp/>

関西支店 TEL06-7178-0211 中部支店 TEL052-204-6850 九州支店 TEL092-473-3003
 北海道営業所 TEL011-558-1900 東北営業所 TEL022-261-9217 新潟営業所 TEL025-247-7600
 首都圏第一営業所 TEL045-681-8861 首都圏第二営業所 TEL048-642-5881 静岡営業所 TEL054-272-4722
 長野営業所 TEL026-238-7502 北陸営業所 TEL076-233-9850 中国営業所 TEL082-242-5088

※記載の会社名・商品名は、各社の登録商標または商標です。
 ※記載の内容は、予告なく変更することがあります。